

# 出資継承企業現れず

## 舞鶴 バイオ発電所公開協議



バイオマス発電所について質疑応答する参加者ら（舞鶴市で）

舞鶴市喜多地区に計画されているバイオマス発電所を巡り、同市内で13日、市と施設の運営などを受託する日立造船、地区住民らの公開

協議が開かれた。同計画を巡っては事業主体に出資するカナダ企業が撤退を表明しており、市はこの日の協議で、事業を引き継ぐ企業が6月中に現れない限り、カナダ企業が7月にも事業主体の解散手続きに入る意向を示していることを明らかにした。

協議には約80人が参加。住民側から事前に寄せられた騒音などの質問に対し、市や日立造船が回答。環境基準を満たしていることや、さらに抑制に努めることなどを説明した。住民側はまた、環境影響を考慮する際に参考とすべき法律が複数存在することや、パ

ム油による発電の持続可能性の課題を指摘した。

一方、市は事業主体「舞鶴グリーン・イニシアティブス合同会社（MGI）」

に出資するカナダ企業が4月に撤退を表明後、継承する企業が現れていない状況も説明。電力会社への売電の認定はMGIが

受けているため、解散すれば計画そのものが白紙となる見通しで、市側は「推移を見守るしかない」としている。